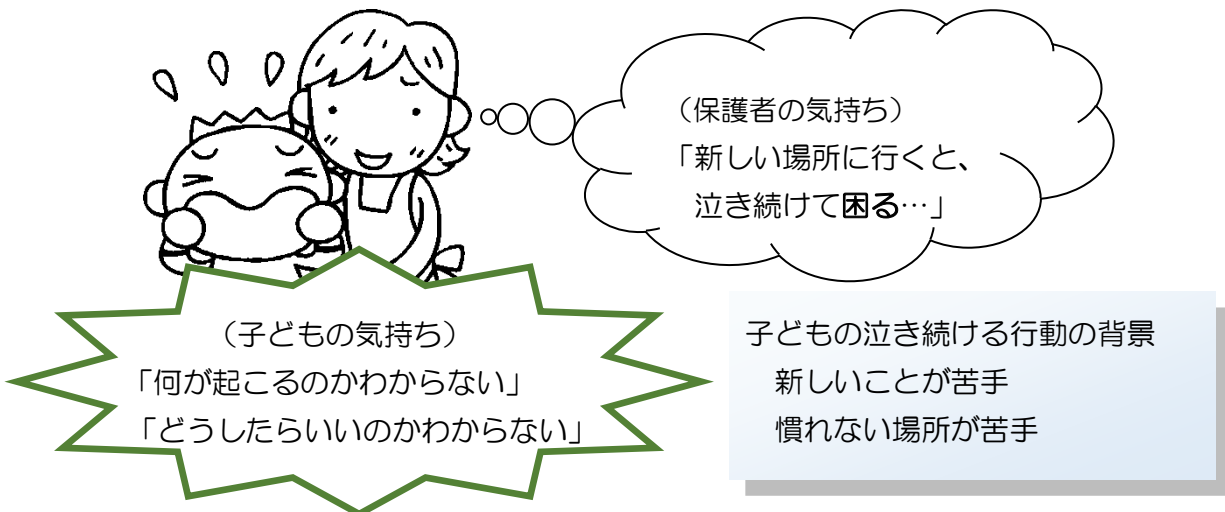




子育ての中で、お子さんにどう対応してよいかわからずに、困ってしまうことはありませんか？ひよこでは、「新しい場所に行くと、泣き続ける」「嫌なことがあると、大声を出したり、物や人に当たったりしてしまう」といった相談が多く寄せられます。そうした困った行動には、お子さんの苦手なことや困った気持ちが関係している場合があります。

今回は、子どもの苦手さから現れる行動や、対応のポイントについて考えてみたいと思います。

例えば…：初めて行く場所で、泣き続けている子どもの様子を見てみましょう。



## 新しいことや慣れない場所が苦手

初めての場所に行くことや、初めてのことに取り組むということは、経験したことがない子どもにとっては、わからないことだらけです。何が起きるのかわからない、どうしてよいのかわからない状況に置かれると、大人でも不安になりますね。大人は、自分なりの方法で不安を解消できる場合が多いと思いますが、子どもには難しいことです。

子ども達は不安な状態になると、泣いたり嫌がったりします。子どもが泣き続けるのは、「何が起るのかわからない」「どうしたらいいのかわからない」という気持ちのほかにも、いつ終わりになるのかわからないという不安もあります。幼児期の子どもには時間を理解することが難しいです。子どもの現在の発達状況では、取り組むことが難しいという場合もあると思います。

では、そういった場合、こういった対応をとっていくと良いのでしょうか。対応のポイントについては、裏面でご紹介します。

機関紙『ひよこのみずあび』は  
足立区役所ホームページ (<http://www.city.adachi.tokyo.jp/>)  
施設案内→福祉関連施設→幼児発達支援室ひよこ（障がい福祉センターあしすと通所事業）にアクセスすると掲載されています。



## \*\*対応方法のポイント\*\*

### ポイント① わかりやすく伝える（視覚提示）

子どもが大人の指示を聞いて行動する場合、ことばだけを聞いて行動できているように見えますが、ことばだけではなく、大人の身振りや指さし、周囲の人の行動を見るといった視覚的な情報もヒントにして行動しています。ことばだけでは伝わりにくい場合は、写真やイラストを使って、目的の場所や作業の手順を示すと、わかりやすさ伝わりやすさが何倍にもなります。

### ポイント② 見通しを持てるようにする

はじめてのことをするときや、慣れない場所に行ったりするとき、事前に知らせることで不安が軽くなることがあります。次に行く場所の写真を見せることや、作業に必要な手順を写真や絵カードにして見せることで見通しを持ちやすくなります。

### ポイント③ 大人と一緒に取り組む

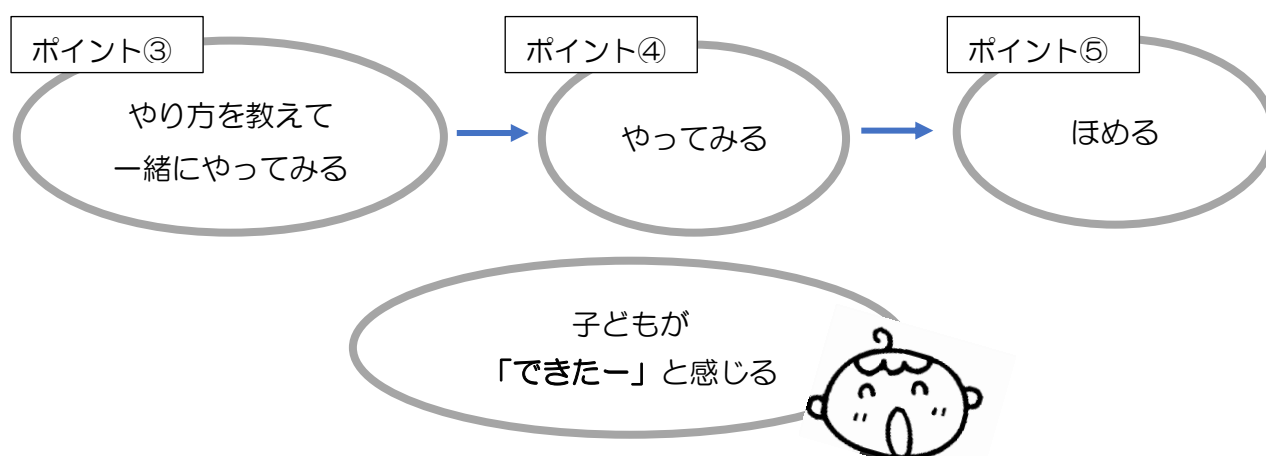
苦手なことに取り組むときには、最初から一人で行うのではなく、大人と一緒にやってみるというステップが必要な場合があります。大人が手を添えて手伝っていきませんが、お子さんが自分でできる部分は、自分で行うよう促していきましょう。お子さんが取り組むことができた部分をたくさんほめます。今度はもっと頑張ってみようという気持ちになれるようにしましょう。自分でできる部分が少しずつ増えてきたら、大人の援助を減らしていくことで、ひとりでできるようになります。

### ポイント④ 短い時間から取り組む、繰り返し取り組む

苦手だけど、頑張ってみようということがある場合、ひよこでは10かぞえる間は頑張るように取り組んでいます。最初は10を高速でかぞえる間しか取り組めなかったことも、だんだんゆっくり10かぞえる間、頑張れるようになります。

### ポイント⑤ 教えて、ほめる

新しいことをするとき、ヒントをあたえながらやり方を教えて一緒にやってみましょう。そして、お子さんができたところまでを思い切りほめましょう。



ほめられることでそのやり方が良いことがわかり、またほめられて心地よいので、その行動を繰り返します。そうすることで、やり方が身についていきます。